

実験集合住宅「NEXT21」で新たな居住実験を開始

～301 住戸：ゆるやかにつながる LDK 空間～

2025 年 6 月 5 日

大阪ガスマーケティング株式会社

グローバルベイス株式会社

大阪ガスマーケティング株式会社（代表取締役社長：森崎 健志、以下「大阪ガスマーケティング」）とグローバルベイス株式会社（代表取締役社長：寺田 隆、以下「グローバルベイス」）は、大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）の実験集合住宅「NEXT21」において、新たな居住実験を 2025 年 6 月から開始いたします。

1. 実験集合住宅「NEXT21」の概要

NEXT21 は、近未来の都市型集合住宅のあり方について、環境、エネルギー、暮らしの面から実証・提案することを目的として、1993 年 10 月に大阪ガスが建設した実験集合住宅です。

竣工以来 5～6 年ごとにフェーズを区切り、それぞれの時代背景を踏まえて設定したテーマのもと、Daigas グループ社員とその家族が実際に居住しながら、計 5 フェーズ 31 年間の実証実験で 200 を超えるプロジェクトを実施し、建物全体の省エネ・省 CO2、都市における緑地の復元と環境共生、多様なライフスタイルに応じた住まいのあり方などに関する数多くの提案や発表、商品化などを行ってきました。

2. 居住実験の背景

グローバルベイスと大阪ガスマーケティングは、共同事業として 2022 年 7 月から関西圏にて、中古マンションの物件探しからリノベーションまで、お客さまのご要望に幅広くお応えするオーダーメイドリノベーションサービス「マイリノ」を開始しており、これまでお客さまから様々なご要望をいただきました。

近年の住宅に求められる要素として、共働き世帯の増加による“家事ラク”や“時短動線”、洗濯物の室内干しニーズの高まりなどがあげられます。また、コロナ禍以降、働き方の多様化や家の中での各々の過ごし方が変わり、LDK に個別の作業スペースを要望されるケースも増えています。

以上の社会的背景を踏まえて、「ゆるやかにつながる LDK 空間」をコンセプトとした新しい住まい方を検討しました。

3. 「ゆるやかにつながる LDK 空間」の特徴

家族間の交流が活性化し、家事動線の短縮化を図る LDK レイアウトをデザインしました。家事空間とくつろぎ空間をつなげることが日々の生活にどのようなメリット・デメリットを及ぼすか検証します。

<リノベーション完成後の室内写真>

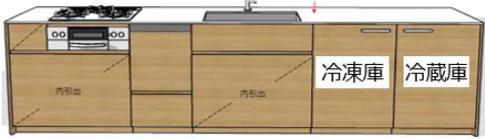


① 「可変式テーブルユニット」による、“家族との時間”と“自分時間”が調和する LDK

特注キッチンとセット構成で設計した「可変式テーブルユニット」を作製しました。4つに独立できるテーブルで、一部が昇降式となっており、ダイニングテーブルとしての活用だけでなく、ワークスペースや家事作業台など、用途に合わせてLDKの好きな場所に移動して活用することもできます。家族各々の時間を確保し、ゆるやかに自然とコミュニケーションが増える新しいLDK空間の創造に向けて、居住実験で利便性等を検証します。

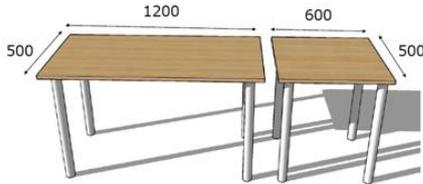
■特注キッチン

・統一感のある空間に仕上げるため、可変式テーブルの天板とキッチン側面は同じ素材に統一

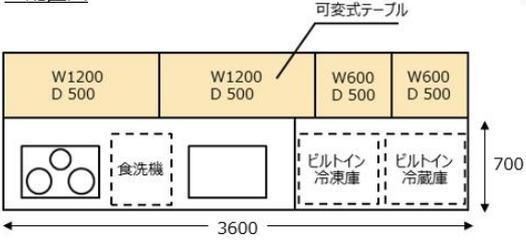


■可変式テーブル

- ・大小のテーブルがそれぞれ2つずつ、計4つが1セット
- ・用途に応じて使いやすいよう一部昇降式



■配置図

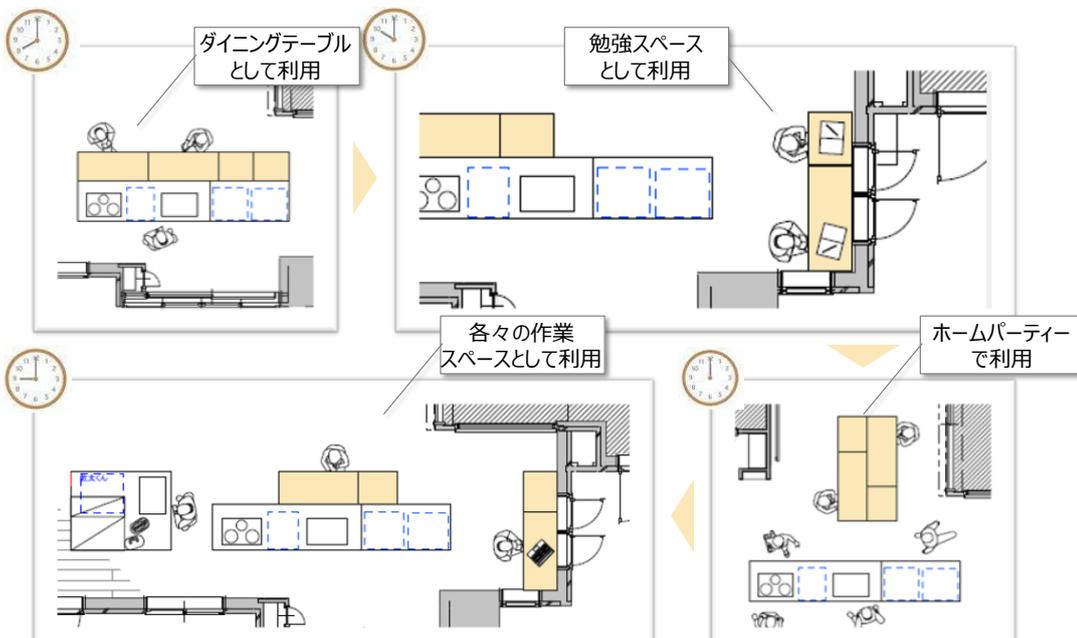


■室内写真



単位：mm

■1日の可変式テーブルの利用例



ダイニングテーブルとして利用

勉強スペースとして利用

各々の作業スペースとして利用

ホームパーティーで利用

② ランドリー機能（洗濯機・ガス衣類乾燥機「乾太くん」）をダイニングに設置

家事の時短ニーズが高まる中、スピード乾燥ができるガス衣類乾燥機「乾太くん」の設置ニーズは年々増加していますが、これまで中古マンションでは排湿筒工事が難しく、設置できないケースがほとんどでした。今回、新たな試みとして、内窓を利用した「乾太くん」の排湿を行い、使い勝手や設置上の可能性を探ります。また、ランドリー機能（洗濯機と「乾太くん」）をキッチンと横並びで配置し、家事動線に配慮したLDK空間を考案しました。



Daigasグループは、今後もお客さまのニーズの変化に迅速・柔軟に対応した付加価値の提案を行うことで、New ノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現に貢献してまいります。